

カンボジア便り

ケップ&カンポットへ！

10月はプチュンバン（カンボジアのお盆）、新学期前の長期休みです。日本の夏休みのようなものですね。昨年、お盆はバタンバンで体験していたので、今回はあまり行けない遠い所までお出かけすることにしました。No.20で紹介した、10月に活動を終えたサッカー隊員さんのいるカンポットと、そこから近い海の街ケップへ行ってきました。

まずは、首都プノンペンからカンボジアで今まで乗ったことの無かった電車に乗ってケップへ！



かいせん まち 海鮮の街、ケップ



カニのモニュメント

ケップに着くとさわやかな風が吹いていました。海がすぐ近くで、海鮮市場があり新鮮な魚介類がたくさん売られていました。一緒に行った隊員と、それぞれ美味しそうなものを買って、カンボジアスタイルの小屋で食べました。カニが有名らしいので、夕飯にはカニ料理のお店へ。しかし、ケップで有名なのは日本人が想像する赤いカニではなく、青いカニなのです。面白いですね。小さいカニなので、身を食べるといって感じではなく、吸って出汁を味わうのがメインでした。



海は私の住む街に無いのでとても嬉しかったです。

こしょう ひしょ まち 胡椒と避暑の街 カンポット

翌日は30分かけてカンポットへ。有名なカンポットペッパーの農園へ見学に行きました。胡椒には、皆さんが知っている丸い粒胡椒と、棒のような胡椒があるそうです。乾かす日数や取る時期、種類によって味が違うなんてビックリですね。見学の後、色々な胡椒の味見をして、自分のお気に入りを選びました。翌日には、ボコー山という大きな山の中の滝を見に行ったり、高台から絶景を眺めたりと、カンポットの自然を満喫しました。



胡椒の木



粒胡椒

棒胡椒

赤いのはまだ若いのだそう。



壮大な滝



最近できたというモニュメント。

シンガポールのマールライオンに似てると大人気です。